

会津産業ネットワークフォーラム（ANF） 令和4年度事業総括

令和5年3月末現在の正会員企業80社、賛助会員7社で、会津地域17市町村を中心に活動続け、会員企業が立地する各自治体（12市町村）及び7教育・研究機関（会津大学、ポリテクセンター会津、テクノアカデミー会津、会津北嶺高校、会津工業高校、喜多方桐桜高校、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）にも特別会員として連携支援をいただいております。

また、会津若松商工会議所等、会津地域の団体はもとより、東経連ビジネスセンター、郡山地域テクノポリス推進機構等、県内外の関係団体とも引き続き、連携体制を構築してまいりました。

令和4年度は「IoTプロジェクト」のインダストリー4.0モデルを実現したプラットフォームを会津地域にとどまらず、他地域とも連携し広域における展開・運用を目指し取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き延期または中止を余儀なくされた事業もあり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

具体的な事業計画に対する取り組み概要は次の通りです。

1. 会議の開催

「幹事会」と「運営会議」を合同で3回開催し、事業運営の審議を行いました。また事務局会議を3回開催し、主に幹事会への提案内容等の協議を行いました。

2. 企業間交流連携・販路拡大

- 1) 技術プレゼン会では、3年ぶりに工場見学を再開し、インカムなどを使用することで機械音の中でも明瞭な説明を聞きながら工場見学ができるようにしました。
- 2) 販路拡大プロジェクトでは、燕三条ものづくりメッセ、彩の国ビジネスアリーナの展示会への共同出展等を通し連携を推進してまいりました。
- 3) 東北大学名誉教授の堀切川一男氏による御用聞き訪問を5月、10月、12月に実施しました。

会員企業を延べ8社訪問し新商品開発のキッカケとなる提案や技術相談などに対する支援を受けました。

- 4) 経営者会は2回開催し1回目は、11月にシステム・インテグレーション(株)代表取締役 多喜氏を講師にお迎えし「超産業革命の時代～フィールド・アライアンスで乗り切ろう」と題した講演会を開催しました。2回目は、2月に新春交歓会も兼ねて会津地域地方振興局 局長 高野氏、岩手県立大学 総合政策学部

准教授 近藤氏をお迎えし、高野氏には「会津地域の産業振興策について」、近藤氏には「経営戦略的視点からみた中小企業におけるデジタル新技術の活用」と題したご講演をいただきました。

- 5) IoTプロジェクトでは、ANFを核としたものづくり分野におけるデジタル化、データ連携などによる中小企業の生産性向上に向けたインダストリー4.0モデルを実現するプラットフォームが本格稼働しており、新たに会員企業1社の運用を開始しました。また、関心を持つ会員企業のフォローを進めながら、他地域でも関心を持たれる企業や団体も増えてきており、視察・討議などの依頼にも対応しています。

3. 大学及び関係機関との連携

中堅社員の集いでは、7月にSAPジャパン(株)の吉元氏、原氏に企画からファシリテーションに至るまでご協力いただき、「デザインシンキングを体験し学べるワークショップ」を初めて開催しました。

4. 人材育成

産業人材の育成については、新入社員研修・旋盤講習・フライス盤講習・QC検定講習会は開催しましたが、保全技能教育・危険体感教育・部下育成セミナーは開催を見送りました。また、ポリテクセンター福島の委託事業の生産性向上支援訓練は、製造業に不可欠なムダの排除及び工程改善、QC7つ道具活用セミナー、安全衛生に加え、初めてDXに関するセミナーを開催しました。

5. 会員の拡大・周知

令和4年3月末現在の会員数は、正会員78社、賛助会員7社、特別会員19機関(12自治体含む)でした。令和4年度は、規約改定により、賛助会員の2社が正会員へ変更となり、その後正会員が2社退会、2社入会、賛助会員2社入会により、令和5年3月末現在の会員数は正会員80社、賛助会員7社、特別会員19機関(12自治体含む)となっております。

以上